

# 海うさぎ

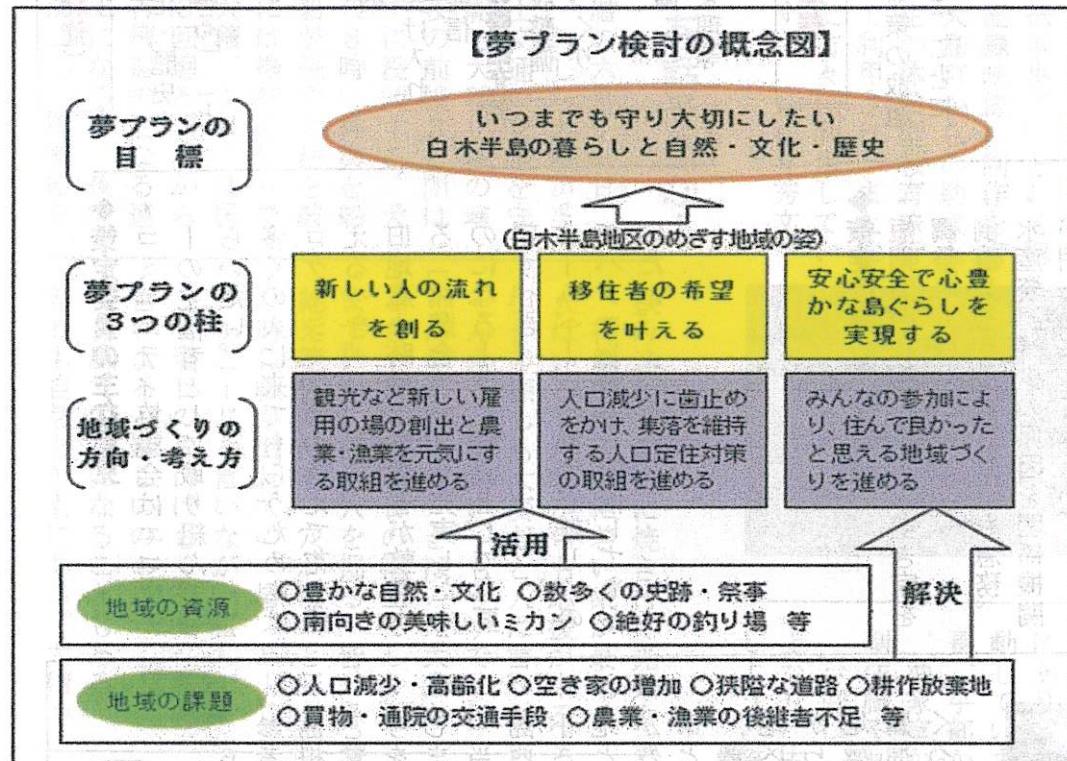
白木半島地区  
コミュニティ協議会事務局  
周防大島町大字沖家室島  
481番地(旧沖家室小学校)  
TEL0820-78-0604  
メール okikamuro-jimu  
@sea.icn-tv.ne.jp

平成29(2017)年8月10日発行  
季刊 夏号

## 夢プランの協議スタート!

(第2回策定委員会)

5月25日、白木半島地区6自治会の将来計画となる「夢プラン」を協議・検討する第1回策定委員会(新山玄雄委員長等19名)が佐連会館で開催され、夢プラン検討の概念図(左図)等について意見交換が行われ、今後の協議の進め方やスケジュール等が確認されました。



- ◆夢プラン作成スケジュール
- ・夢プラン中間まとめ(9月)
- ・夢プラン最終案(11月)
- ・夢プラン承認(12月総会)

### ◆策定委員の主な意見

- ・7回の開催では全項目の詳細な協議は難しいので優先順位の高い項目から深く協議し、取り組んでいくことが必要。
- ・移住者を白木半島に迎えるためには、住まいを提供できるかどうかに尽きる。
- ・6自治会共通の取組として白木半島を花でいっぱいにしてはどうか。
- ・夢プランの取組はホームページで積極的に情報発信すべき。

第1回策定委員会終了後、山口県中山間地域アドバイザーの安藤周治氏(NPO法人ひろしまね理事長)による講演が行われ、策定委員や地域住民等50名が参加しました。長年にわたり地域づくりの実践に携われている安藤氏は「地域づくりは、道路や橋、建物を造ることと考える人が多いが、暮らしの質を高めること」と強調。住民が地域の良さや魅力を再確認し、それに磨きをかけることで地域が活性化すると語られました。

また、夕飯準備の忙しい時間帯にもかかわらず、多くのご婦人が講演会に出席していることに驚かれ、「地域づくりには、女性の積極的な参加が不可欠」と強調、白木半島地区の夢プランづくりにエールを送られました。



安藤周治氏による  
講演会開催

## 第2回策定委員会（6/19開催）

白木半島の豊かな自然や文化・歴史を活かして「新しい人の流れを創る」ことについて協議が行われました。

### ○エコツーリズムの推進

- ・多様な体験プログラムの構築
- ・体験型修学旅行の積極的な受け入れ
- ・ホームページ等による情報発信

### ○自然体験活動等の施設設備の整備充実

- ・旧地蔵小跡地を活用した施設整備
- ・四季折々の花咲く白木半島づくり
- ・狹隘な道路の整備
- ・地家室佐連間のトンネル整備
- ・千本桜周辺道路拡幅、桜の管理等

### 第3回策定委員会（7/26開催）

地域一丸となつた人口定住対策の取組により「**移住者の希望を叶える**」ことについて協議が行われました。

### ○空き家の利活用

- ・貸し出し可能な物件の掘り起こし
- ・お試し住宅の確保

### ○地区内の仕事の確保

- ・柑橘栽培継業の促進
- ・海藻を活用した事業展開の検証

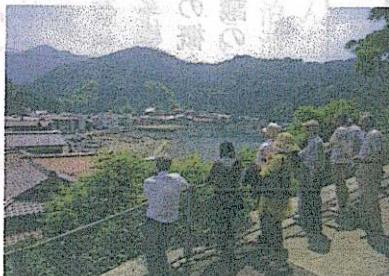
### ○子育て対策への取組

- ・地域での子育て支援と

### 遊具等の環境整備

### ◆策定委員の主な意見

- ・コミュニティ協議会はエコツアーハーの主催者として取り組んでもらいたい。
- ・多くの人に来てもらうためにはロケーション等も考えて花を植えるべき。
- ・旧地蔵小跡地に環境省が整備する「休憩舎」がより充実したものになるよう協議会としても要望すべき。
- ・ホームページの操作が難しいのでパソコン教室を開催してもらいたい。
- ・ホームペークジの操作が難しいのでパソコン教室を開催してもらいたい。
- ・島西端に位置する海と山に囲まれた小さな漁村で、古くは北前船の寄港地として栄え、今でも当時の街並みが残つており、街の雰囲気は商業都市として栄えた沖家室の様でした。
- ・鶴鷺げんきな会は、このままでは地区が消滅してしまうという危機感から有志が立ち上げた会で、自らが地域づくりの実践者となり、また、鶴浦近海の遊覧、古民家で料理をつくる出張シェフ、海水と藻でつくる倒壊しそうな廃屋対策も急務。
- ・短期間の利用ができる空き家を調整してほしい。
- ・水産資源減少の原因を関係機関が明らかにしてほしい。
- ・海藻養殖をするにしても初期投資の費用を算出する必要がある。
- ・産科や専門的な小児科は柳井に行かなければならぬ。島内町立病院で対応できないか。
- ・子どもたちと高齢者が共に過ごす場の提供も必要。



(美しい眺望の鶴浦地区)



(会の皆さんとの意見交換)



(藻塩づくり体験)

## 「鶴鷺げんきな会」の地域づくりを視察しました！

6月28・29日、夢プランづくりの参考とするため、策定委員等12名で島根県出雲市大社町鶴鷺地区（鶴崎と鶴浦を合わせた地区）の地域づくりを担う「鶴鷺げんきな会」を視察しました。

当地区は出雲大社の北側、島根半島西端に位置する海と山に囲まれた小さな漁村で、古くは北前船の寄港地として栄え、今でも当時の街並みが残つており、街の雰囲気は商業都市として栄えた沖家室の様でした。

鶴鷺げんきな会は、このままでは地区が消滅してしまうという危機感から有志が立ち上げた会で、自らが地域づくりの実践者となり、また、鶴浦近海の遊覧、古民家で料理をつくる出張シェフ、海水と藻でつくる倒壊しそうな廃屋対策も急務。

短期間の利用ができる空き家を調整してほしい。

水産資源減少の原因を関係機関が明らかにしてほしい。

海藻養殖をするにしても初期投資の費用を算出する必要がある。

産科や専門的な小児科は柳井に行かなければならぬ。島内町立病院で対応できないか。

子どもたちと高齢者が共に過ごす場の提供も必要。

### ◆策定委員の主な意見

今年の秋にはぜひ白木半島を訪ねたい」と言われ、鶴鷺地区の皆さんとの交流が今から楽しみです。

視察を終え、夢プラン成功の鍵は、地域づくりの取組に多くの住民が関わり、鶴鷺地区のように様々な実践グルーブが立ち上がることではないかと強く思いました。

## 町指定有形民俗文化財

### 「地家室の石風呂」

地家室には岩を割り貰いた珍しい石風呂（蒸し風呂）があります。平成元年に旧東和町の民俗文化財に指定され、テレビで全国放映されました。放映を機に50年ぶりに石風呂を焚くことを再開しました。

その後、作業する人達の高齢化が進み、焚くことができなくなるという懸念から、平成20年に文化庁の文化財保存・継承の為の「地域伝統文化伝承事業」として認められ、石風呂記録映像の制作を行いました。周防大島町からの助成もあり、毎年中学生の体験型教育旅行の体験学習として利用され、またお盆には帰省された方々に利用していただいております。（松井秀文）



### 「十七夜祭」を語そつか！

十七夜祭は旧暦の六月十七日、今年は8月8日、わしら大積が当屋を務めた。海上交通の安全を守る宗像三女神を祀る大積小積の魂の祭りだ。十七夜の前後3日間は他の予定を入れずに没頭する。大潮のこの日は、夜8時に神輿を船に乗せ、四艘の船が鉦や太鼓を敲き、ごつごつ船には提灯の灯りをたくさんつけて大積、小積、鳥居の沖をそれぞれ3回廻る。浜から見てみんさい。神輿船の更なる遠見に月が出る。嵐になると、夜空と水面にお月様が二つ、神輿船を

挟み込む。脳裏に焼き付く光景よ。神輿を担ぐのに若い衆が最低8人はいる。小松からも応援が来る。担ぎ手探しも大変だと人は言うがそんなことはない、もうすでにおらんのじやけえ。とはいえた変なこともある。前日の幟立てじや。まず砂浜に深い穴を掘る。皆、息絶え絶えに掘る。穴が浅いと肝心な時に幟が倒れての。皆、あーじやあこーじや言いながら喜んでやる。翌日の片付けもぐちやぐちや言いよる、楽しいの。お台風で中止になることもある。大積の

話題？ 十七夜祭を語らんて何を語ろう。  
(話し手 竹田英雄)



### 白木半島地区への熱いまなざし

グーグルの航空写真で白木半島を見る。三七四メートルの白木山から、小積、大積、地家室を通って、エネルギーが海に流れ込んでいる。佐連山からは佐連や大積を通って流れている。その陸と海の境界線に集落がある。海幸山幸の恵みでできた集落。この恵みを大いにいただき、住民パワーでそれを活かしてほほしい、活かす他はないと思ふ。(和田 直農園 西村直彦)

## 白木半島の話題で盛り上がった「関西かむろ会」

関西かむろ会（宮本富行会長）が7月2日、大阪の京阪ホテル天満橋で賑やかに開催されました。

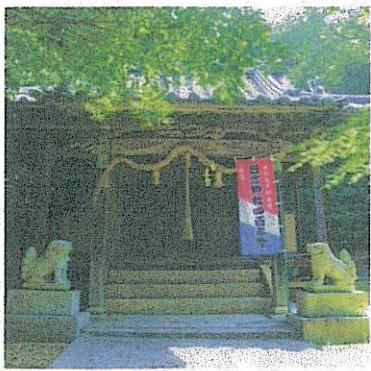
この会は、毎年この時期に開催され、沖家室に縁のある皆さんのが集い、古里を話題にひとときをすごし、旧交をあたためます。今回は57名の出席がありました。

かむろ会は、東京、関西、広島、宇部、ハワイにあり、毎年各地で会を開催するなど、活発に活動しています。会には、東京かむろ会八木正共会長、宇部から西村季芳会長、広島から山田実会長、沖家室から北川公祥自治会長、新山青蓮泊清寺副住職や私、新山玄雄も出席しました。

今回は「白木半島」の活性化のニュースで盛り上がり、古里が元気をとりもどすために皆で協力しようと言いました。（新山玄雄）



## 伊崎の守り神



佐連の日吉神社



お墓師様

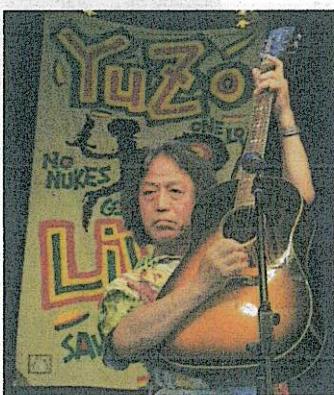
伊崎では、秋には毎年旧暦の九月九日に荒神祭りが、10月には十夜法要が行われます。昨年は10月3日に荒神祭り、同月30日には十夜法要が行われました。荒神祭りは、地区内の荒神様境内に皆が参拝し、宮司さんに祝詞（のりと）をあげていただき後、お供えしたお神酒でしばし歓談し、赤飯を一人一人いただいて一年の健康に感謝と納し、和尚さんに回向をしていただいた後、説教を聞き歓談しました。（桑原敏広）

## 佐連の日吉神社「四百年祭」

佐連の氏神様であります日吉神社は、今年で創建四百年を迎えます。同時に25年に一度の御年祭を今年10月9日に、皆様の絶大なるご支援により、盛大に催します。にぎやかな祭りに成りますよう、皆様多數ご参加下さい。（実行委員長 西村隼人）

## 白木半島地区コミュニティ協議会後援の催し

白木半島に多くの人が訪れています。7月17日、シンガーソングライター豊田勇造さんのライブが沖家室の泊清寺で開催されました。この地の人々の暮らしぶりと共に感された豊田さんが作詞・作曲した「虹の歌」を歌い、この地に縁の深かつた永六輔さんを偲んで「上を向いて歩こう」を大合唱しました。地元バンド「夢人」も出演し、大いに盛り上りました。



## 池澤夏樹さんトーク

小説家で詩人の池澤夏樹さんが8月12日午前10時30分から、泊清寺本堂で「宮本常一を語る」というテーマで住職と対談します。その内容は、東京FMのラジオ番組に収録されます。なお、対談は公開で行われますので、皆様のご参加大歓迎です。お越しをお待ちしています。

## 涼風獻上！ 豊田勇造さんライブ

### 卓球大会を開催！

佐連自治会では、体力づくりのため、旧集荷場に卓球台を設置しました。

来たる8月15日朝8時より、卓球大会を旧集荷場にて開催します。

皆様ふるつてご参加下さい。

### 空き家を貸して下さい

周防大島町では、増え続ける空き家対策として、移住者等に貸し出す「空き家バンク」への登録をお願いしています。空き家を貸していただければ、○庭木などの手入れが不要○家庭の老朽化を予防できる○家賃収入につながるなどの利点があります。手続きは簡単です。

- ①政策企画課に電話する
- ②町職員による空き家の確認
- ③宅建業者による確認
- ④空き家バンクへの登録
- ⑤希望者への紹介
- ⑥宅建業者の仲介のもと契約締結

伊崎 桑原敏広  
佐連 地家室 松井幸子  
西村隼人 桑原市蔵  
沖家室 北川公祥 横山和明  
大積 竹田英雄  
小積 岡本洋治  
アドバイザー 新山玄雄  
事務局 長谷川樹子

### お知らせ

## 新会員の一紹介

白木半島地区コミュニティ協議会の地域づくりの取組に賛同いたしました。新たに8名の方が会員になりました。（敬称略）

奥井紀舟 新山淳子  
奥井広子 新山陽右  
奥井ちはな 新山常樹  
奥井すずみ 古谷宗雄（岐阜県）

### 編集後記

広報紙「海うさぎ」は、第2号より6自治会共同で編集することになりました。今後、編集委員のみや地区の話題をお届けいたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

周防大島町政策企画課  
電話 0820 (74) 1007